



下田中学校 研究だより No.6

2020. 11. 11 文責 石崎 千波

研究主題：主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり
～表現力の育成を中心として～

2学期の学校行事である学習発表会（10月31日）では、生徒たちが様々な分野で学習したことを堂々と発表することができました。この学習発表会に向けての作品作りや音楽指導、夏休みの課題の活用など、先生方の計画的なご指導により生徒たちは自信をもって発表することができたと思います。今年は全員の生徒が活躍できた学習発表会ではなかったでしょうか。生徒たちの反省の中には、掲示物を見ての感想もたくさんあり、友だちの頑張りを評価する姿も見られました。

今回はBチームの授業を振り返ります。1学期の全校総見より全体で取り組みたいことも含めて検証してみましょう。

- ①生徒が主体的に授業に参加するためには、「生徒にいかに疑問をもたせるか」発問であったり、学習課題、提示する資料などの工夫をする。
- ②表現力の育成 = プレゼンの仕方の指導（パターン化）、意識的に文量を決めて書かせるなど

全校総見の振り返り 10月28日（水）数学科（2年生） 片岡先生

◇本時の目標「解決した問題を増やして振り返り、新たな問題を解決しよう」

	○良かった点	△改善点・課題
①主体的に参加できるようめあての工夫があったか	・発表の仕方(理由をつけて発表したり友だちの支援ができていた。) ・生徒の反応や発言を授業展開の中に上手に取り入れていた。 ・学習課題に対して生徒が考えようとしていた。 ・前時の内容や既習のキーワードが提示されていて、生徒は問題を解こうと努力していた。	△学習形態の工夫 ペアやグループ活動など、どの場面で活用するか。最後の問題を解く場面はどうか？
②思考を深めさせる課題や活動の工夫があったか。	・適切な段階別のステップアップ問題 ・前時で学習したことを使えば今回の問題が解けるという課題	・多様な考え方の取り上げ方（どんな考えを引き出すと深まるのか） △グループ（ペア）の活動場面がなかった。

丁寧な教材準備

チーム会で問題を解いておく。

◎授業の流れが身についていて日々の授業の様子が分かりました。生徒が意欲的に問題を解く姿や聴く姿勢も良くなっています。しかし理解できている生徒で授業が進んでいる感があり、支援が必要な生徒への手立てが課題として挙げられました。

森原指導主事からは、数学では「統合的・発展的に考察することで子どもたちの資質・能力がさらに育っていく」ことからめあて（まとめ）案や問題の代案などのアドバイスを頂きました。各教科での育成する資質・能力とは何かを確認しながら、授業づくりを進めていきましょう。

* 次回は、Aチーム総見・・・11月12日（木） 3時間目 2年生 国語
全校総見・・・11月27日（木） 2時間目 3年生 英語